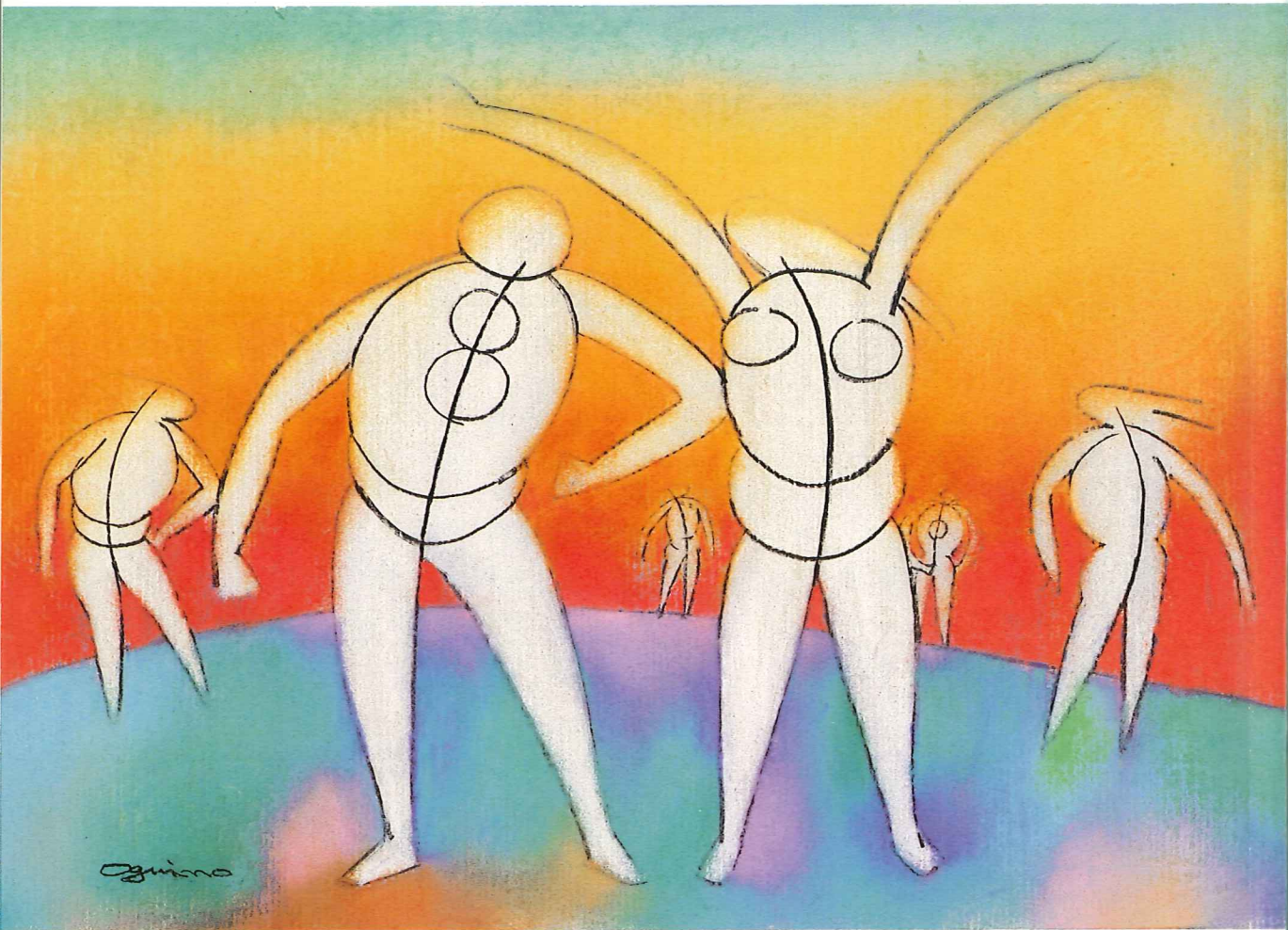


成蹊會誌

1991・1 No.72



特集—政治

動乱の世界をみつめて
成蹊初の労働大臣誕生

佐藤敬夫(衆議院議員)
塚原俊平(衆議院議員)

図2：新1号棟平面図

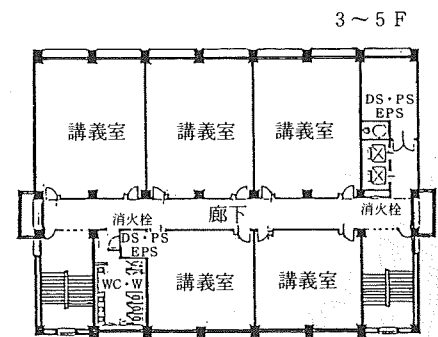
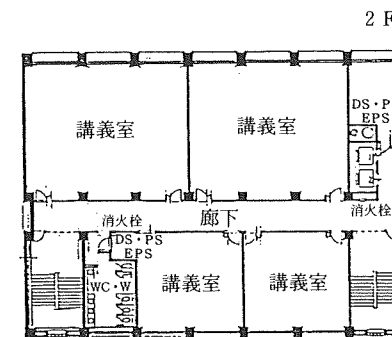
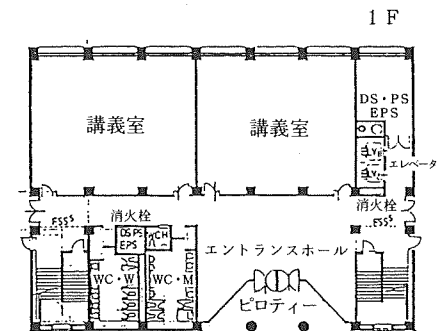
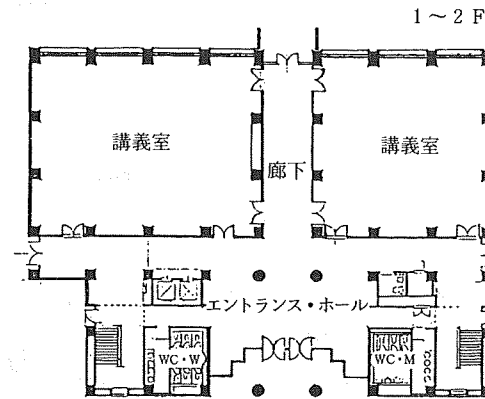
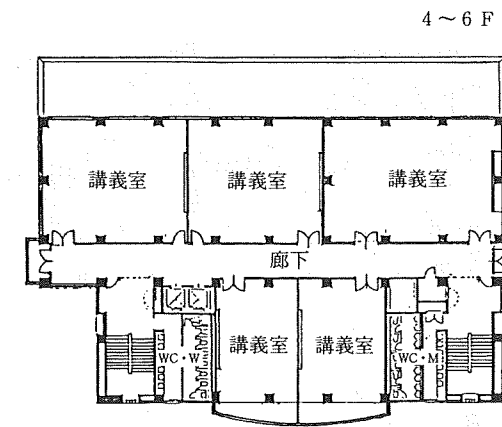
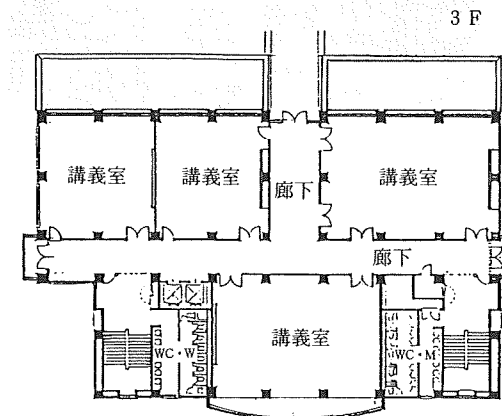


図3：新2号棟平面図



1Fのエントランスホール部分は2Fで講義室



大学の近況

チャルマース工科大学学生合唱団(スウェーデン王国)の来訪について

去る六月十一日(月)、チャルマース工科大学学生合唱団(約百名)の来訪があり、これを歓迎して次のような催しを行いました。

- (一) ビデオフィルムによる本学紹介
- (二) 本学学生との「ユニホック」試



ユニホックの試合

合 合 歓迎レセプション

歓迎レセプションでは、本学混声合唱団とチャルマース工科大学学生合唱団のコーラスが披露されるなど、賑やかな国際交流が繰り広げられました。

父母懇談会

本学を会場にして、主に関東地区在住の父母を対象に行う「父母懇談会」は、今年度は、全学部で行われました。当日は学長、学部長、大学評議員から「大学学部の現況」「学生生活について」等の説明が行われ、続いて個別面談、学科別グループ懇談会等が、各

学部の方針に添って行われました。各学部の実施状況は別表のとおりです。

学内進学相談会

本学を会場として、七月二十八日、二十九日の両日、進学相談会を開催しました。受験生やその父母にとっては進学についての相談はもとより、キャンパスを直接見学できるということで大変好評を得ております。

相談会の内容は、受験生、受験生父母との個別相談、キャンパス案内、ビデオによる大学紹介、それと昨年度から取り入れた在学生を囲んでの受験生との懇談会です。



在学生との懇談会

この中では在学生との懇談会が特に盛況でした。世代ギャップの少ない在学生の受験当時の心構えや経験上の話現在の心境など、受験生にとっては魅力ある内容で、熱心な質疑応答が行われました。

この催しは、ユニークな企画として、後日、毎日新聞で紹介されました。

成蹊大学公開シンポジウム

昭和五十八年以来行ってきました本学の公開講座は、開かれた大学として地域に定着し、様々な要望のもとに、企画を進めてきました。

父母懇談会実施状況

| 学部 | 開催日 | 対象者 | 参加父母数 |
|------|-----------|---------------------------------------|-------|
| 経済学部 | 6月23日(土) | 東京都、埼玉・千葉・神奈川・茨城・栃木・群馬・山梨県在住の2年次生父母 | 81名 |
| 法学部 | 9月29日(土) | 東京都、埼玉・千葉・神奈川・茨城・栃木・群馬県在住の2年次生父母 | 90名 |
| 文学部 | 10月13日(土) | 全国地域の3年次生父母 | 101名 |
| 工学部 | 11月10日(土) | 東京都、埼玉・千葉・神奈川・茨城・栃木・群馬・山梨県在住の2・3年次生父母 | 260名 |

本年度は新たな企画として、公開シンポジウムを行うことになりました。テーマも最もタイムリーなものとして、「ドイツ統一問題」を取り上げ、別表「ドイツ統一問題」を取り上げ、別表

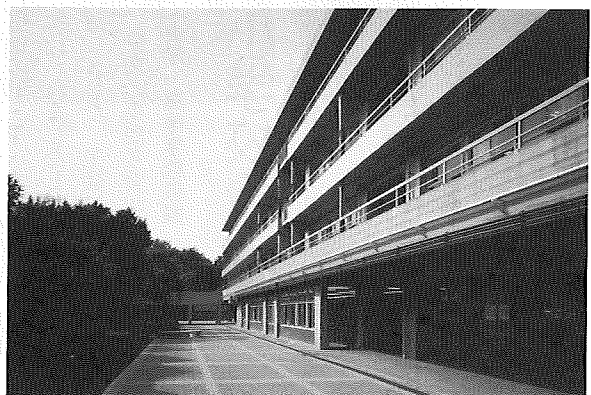
平成二年度「成蹊大学公開シンポジウム」実施要領
平成一二年度入学生より教員免許の制

| | |
|------|---|
| テーマ | 統一ドイツの登場と国際関係 |
| 開催日時 | 12月1日(土)午後1時30分～4時30分 |
| 会場 | 成蹊大学7号館 |
| 講師 | 鳴 武彦 東京大学教授 暉峻 淑子 埼玉大学教授 ジーグリード・アーノルド 西ベルリンの高校教員 宇野 重昭 法学部教授(総合司会) 松下たゑ子 経済学部教授 篠原 一 文学部教授 三浦 國泰 文学部助教授 宮本 光雄 法学部教授 富田 武 法学部助教授 |
| 募集人員 | 300名(申込先着順) |
| 受講資格 | 社会人・学生等(特に限定はしない) |
| 受講料 | 無料 |
| 申込受付 | 11月1日(木)～11月24日(土) |
| 申込方法 | 往復ハガキに住所・氏名・年令・職業・電話番号明記の上、成蹊大学学事課 公開講座係宛送付 |

中学・高等学校の近況

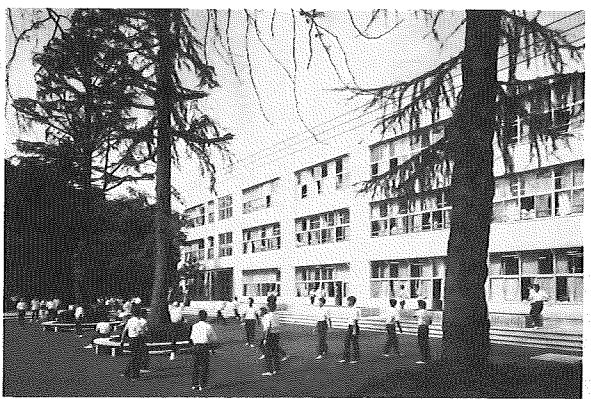
今年の夏は梅雨明けも早かったせい、大変な猛暑でした。夏休み直前の海・山の学校もおかげさまで好天に恵まれ、例年になく大の成果を上げることができました。成蹊の中学生が、大勢の卒業生や大学生・高校生の皆さんにささえられ、他の学校には見られない大がかりな夏の学校を体験できま

すことは、彼らにとって大変幸せなことといわねばなりません。忙しい仕事の合間に貴重な時間を割いて毎年参加してくださる水泳師範の方々・蹊医会の方々に、心から御礼と感謝を申し上げます。さて、今年の夏休みは、高等学校硬式野球部の活躍が始まりました。夏の甲子園大会西東京大会に出場した硬式野球部は初戦から投打とも好調で、四回戦の対武蔵村山東戦も3本塁打を含む全責安打の18安打で圧勝。昭和三十一年、早実を相手に戦った時以来、実に三十四年ぶりの五回戦進出を果たしました。



高校前庭及び食堂前庭

日本学園を相手に苦戦。九回の3ランホームランによる逆転勝ちで進出を果たし、成蹊との対戦となったわけです。五回戦の結果は、誠に残念ではありましたが、七回10対0コールド負けでした。連日の猛暑の中、選手諸君たちはほんとうによく健闘しました。球場には卒業生の方々も多数応援に駆けつけてくださり、久しぶりのベスト16に大いに声援を送っていただきました。また、高校サッカー部もこの夏は大活躍でした。八月十九日から二十二日にかけて行われた都大会予選では、一回戦都立昭和に2対1、二回戦都立多



中学校前庭

摩工業に1対0、三回戦都立小平南に2対0、決勝戦都立国分寺に2対0と勝ち進んで、七年ぶりで都大会出場へ駒を進めました。九月十五日都大会の一回戦が行われましたが、結果は日大豊山に1対2で惜敗しました。十月に入り、いよいよラグビーシーズン。ラックビー部も全国大会予選にむけていよいよスタートです。

成蹊中高は、夏の学校行事だけでなく、日頃のクラブ活動の面でも大変多くの卒業生の方々に、コーチ・監督としてのお世話をいただいています。生徒たちが今年のように日頃の練習の成

果を十分に発揮して、良い成績を残してくれる陰には、卒業生の方々の温い声援や協力がいっしょにあることを感謝しています。今後いろいろな角度からの適切なアドヴァイスがいただけると良いと思います。



右から無藤助教授、柴田教授
布川指導囀話

度が改正されました。これにとめない教職課程の一層の充実をはかるために、念願となっていた教職課程指導室が開設されました。

大野 功教授が退職され、今年度より2名の先生方が着任されましたのでご紹介いたします。
柴田 義松 教授
教育方法学がご専門で、ソビエトの教授理論にも造詣が深く、「授業の基礎理論」「教科教育論」「ソビエトの教授理論」などの著書があります。
無藤 清子 助教授
教育専門学、臨床心理学がご専門で「青年の安定と探求そして心理療法」などの著書があります。
(成蹊大学学長室)

卒業生の名簿作成作業を今年度より来年度にかけて行います。調査の葉書がお手元に届きましたら、ご面倒でもご返送下さい。今後は現職の「先生」との連絡をいっそう密にして、卒業生と在学生の相互交流の場として発展させていきたいと考えております。
卒業生の方々のご来室をお待ちしております。

施設だけに、一日も早い完成が待たれます。
中学校日・R棟は、昭和二十六年に建てられたものですし、高校日・R棟・理科棟も昭和二十七年新築以来長年月を経て、大部老朽化が進んでいる現在、すこしでもその老朽化をくい止め、大切に使用していく努力をする一方で、そろそろ将来にむけて、新校舎建築の具体的構想を本格的に練らなくてはと思う今日このごろです。

九月は、残暑ことのほか厳しく、また雨もろくに降らない日々が続きました。
今年も例年同様、充実した内容の展示や、公演も数多く見られ、まずまずのできばえであったと思います。
十月の声を聞くと、一転にわかには秋の気配が駆け足でやってきて、中高内の林園もその装いを変えてきました。

今年も昨年と同様に、一年生・二年生は箱根寮、三年生は福島県土湯温泉、四年生は伊豆弓ヶ浜、五年生は志賀高原寮、六年生は波左間寮で行われました。
ただ、四年生は、昨年伊豆地方の地震のため中止しましたので、おとしに続いて二回目となります。

恒例のP・T・Aスポーツ大会も盛大に行われましたし、大きな行事も一段落しました。生徒にとってはよいよい二学期の中間調査が始まります。
(中学・高等学校教頭 横地 孝)

小学校の近況

四月からの小学校の大きな行事は何といっても、運動会と夏の学校です。
運動会
好天に恵まれ、内容も充実していましたが、盛り上がりもあつた、よい運動会ができたと思っております。反省点はいくつかありましたが、これを来年度に生かして、さらにより運動会ができるように努力するつもりです。

夏の学校
今年も昨年と同様に、一年生・二年生は箱根寮、三年生は福島県土湯温泉、四年生は伊豆弓ヶ浜、五年生は志賀高原寮、六年生は波左間寮で行われました。
ただ、四年生は、昨年伊豆地方の地震のため中止しましたので、おとしに続いて二回目となります。

夏の学校

今年も昨年と同様に、一年生・二年生は箱根寮、三年生は福島県土湯温泉、四年生は伊豆弓ヶ浜、五年生は志賀高原寮、六年生は波左間寮で行われました。
ただ、四年生は、昨年伊豆地方の地震のため中止しましたので、おとしに続いて二回目となります。

たのしかったです。このことは、ぜひたいわすれません。なんか一生わすれないような気がします。
東京にかえって、お母さま、お父さま、おじいちゃん、おばあちゃんに教えます。もし、ひいおばあちゃんに教えてあげられたら教えてあげます。なの、おばあちゃんにも教えてあげます。家ぞくでこんど、はこねにきたときは、この山のコースを教えてあげたらひっくりかえると思います。

夏の学校を無事に終えることができましたのも、先輩の医師・師範団・コーチの方々のお力添えがあつたからです。誌上をおかりして厚くお礼を申し上げます。

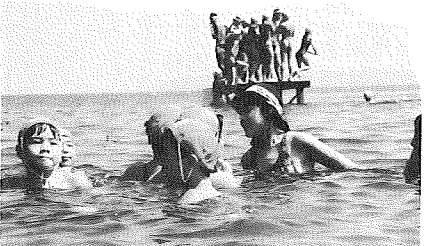
夏の学校を無事に終えることができましたのも、先輩の医師・師範団・コーチの方々のお力添えがあつたからです。誌上をおかりして厚くお礼を申し上げます。



4年弓ヶ浜 水泳師範に指導をうける



5年志賀 志賀山への登山

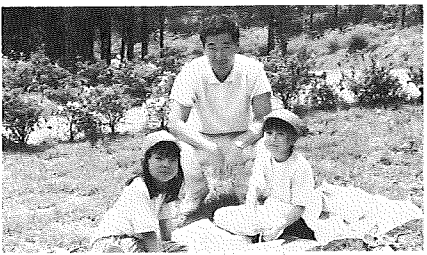


6年波左間 水泳師範の指導をうける

今年、それぞれの学年が天候に恵まれて、しかも、事故なく、目的を達成することができました。
次の文章は二年生のもので、夏の学校の様子がよく出ています。夏なので、引例が長くなりますが、お読み下さい。子どもたちは、たくましく、そして、おもしろいことを思うものです。

「山のぼり」

二年 堀川 忠生
夏の学校の中で、一ばんつかれたけどたのしかったのは山のぼりです。
だって、せいけいの今までの二年生の中では、はじめての、かんむり山と神山と駒がたけの三つの山をのぼったからです。



1年箱根 お医者さんとおべんとう



2年箱根 ウォークラリーで山川事務長と



3年土湯 荒川の上流で遊ぶ

そうして、みんなで記ろくをつくりました。さいしょに、ロープウェーにのって大わく谷に行きました。ロープウェーの中からけむりが見えました。大わく谷のえきについたらしゃしんをとりました。だんだんのぼって行ったら、ロープウェーの中から見えていたけむりの場所がありました。くろろタマゴをみんながもらっていたので、ぼくはあわててもらいました。くろろタマゴは、けむりの正体の中でゆでたタマゴなので、ちよつとじごくのふんいきがしてきました。
いっぱいあるっていると、へびが出てきました。ぼくはつっぱしりました。つかれたなと思ったら、「食事ですよ。」と、さとう先生がいったのでまたまた

小学校の現状

小学校は二学期に入りました。二期は文化祭という大きな行事があり、ひき続いて新一年の入学試験が行われます。近年、私立学校への入学希望者が増加し、成蹊小学校も応募者の数が増えています。入学を希望される方が増えることは嬉しいのですが、その対応には苦慮している状況です。

今、小学校は、「真に小学校らしい小学校」を目指し、子どもたちが、楽しい学校生活を送ることができるよう努力をしているところです。また、数年前から教育課程の改訂についての仕事をすすめてきました。これは、近未来社会を想定し、ゆとりある学校生活の中で、個性的な子どもを育てることを目標としたものですが、すでに大枠ができあがり、細かい各教科毎のカリキュラムの完成を急いでいます。

この教育課程の実施は、平成二年度から行うものですが、①子どもにゆとりを与え、自由な自主学習をすすめる。②地域の社会教育に、継続的に参加さ

せる。

- ③会社・役所・その他の事業の、週五日制に順じ、家庭教育の充実を望む。
④遠隔地からの通学児童の身体的疲労を考慮する。
⑤教員の研修を一層盛んにしたい。
という理由から、現在までの隔週五日制を、完全五日制として実施することにしました。

今、校庭から、子どもたちの遊ぶ元気な声が聞こえてきます。そのうち、文化祭に向けての活動が、各学年、教科で開始されるでしょう。(この会誌の記事が目にとまるころはすでに終わっています)
教員の側も、教育課程の改訂に力を合わせて取り組み、意欲的な実践を続けています。

以上、小学校の現状の一端を述べるにとどまりましたが、どうぞ、ご理解の上、なお一層の暖かいご支援を頂きますよう、お願いいたします。

小学校長 亀村 五郎

住所(電話)勤務先など異動の際は成蹊会にもご一報を!!

お願い

平成3年度 学生・生徒・児童募集案内

●大 学

| 学部・学科 | 募集人員 | 願書受付期間 | | 入学試験日 | | 合格発表日 | |
|--|------|-------------------------------|----------------------------|----------|-------------------------------------|----------|-----------------|
| | | 一般 | 海外 | 一般 | 海外 | 一般 | 海外 |
| 工学部 機械工学科 80名 電気工学科 80名 工業化学科 80名 経営工学科 80名 計測数理工学科 60名 | | | | 2月11日(月) | (平成2年)10月17日(水) | 2月17日(日) | |
| 文学部 英文文学科 166名 米本文学科 100名 文化文学科 180名 | | 1月7日(月) 1月28日(月) (消印有効) | (平成2年)9月25日(火) 10月5日(金) | 2月12日(火) | (平成2年)11月9日(金)〈筆記〉 11月10日(土)〈面接〉 | 2月18日(月) | (平成2年)11月15日(木) |
| 経済学部 経済学 290名 経営学 200名 | | | | 2月13日(水) | (平成2年)11月1日(木) | 2月20日(水) | |
| 法学部 法律学 280名 政治学 160名 | | | | 2月14日(木) | (平成2年)10月25日(木) | 2月21日(木) | |

●電気工学科は、平成3年4月1日より電気電子工学科に改称予定(文部省に申請中)

●高等学校

| 募集年次 | 募集人員 | 願書受付期間 | 入学試験日 | 合格発表日 |
|--------|-------|-------------------|----------|----------|
| 第1学年 | 約100名 | 1月25日(金)~1月30日(水) | 2月18日(月) | 2月20日(水) |
| 海外帰国子女 | 若干名 | 2月6日(水)~2月9日(土) | 2月24日(日) | 2月26日(火) |
| 第2学年編入 | 若干名 | 3月4日(月)~3月8日(金) | 3月10日(日) | 3月11日(月) |

●中学校

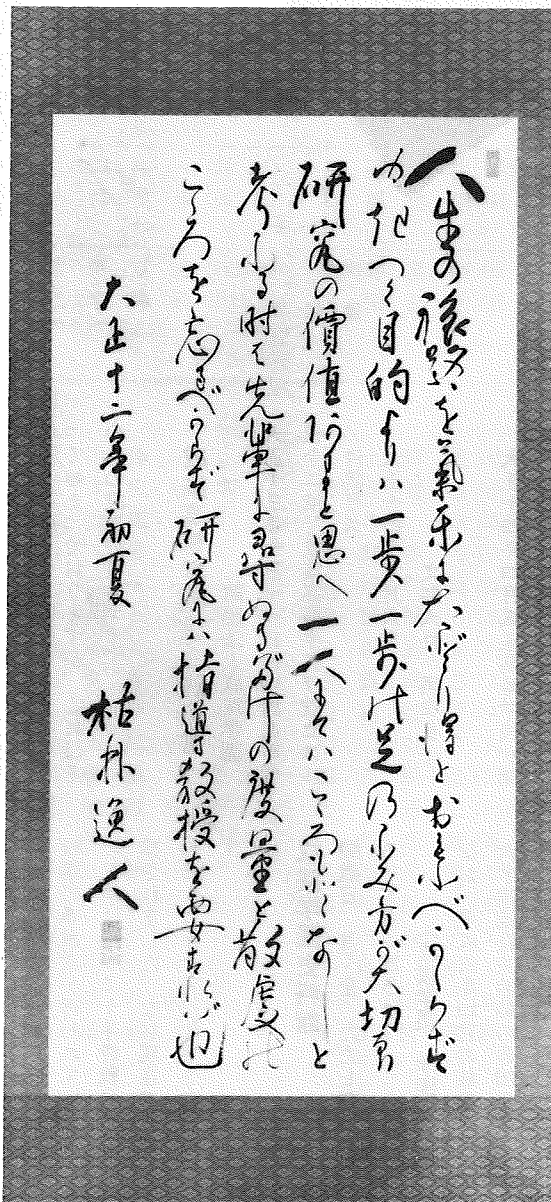
| 募集年次 | 募集人員 | 願書受付期間 | 入学試験日 | 合格発表日 |
|-------------------|------------------------------|-------------------|---------|---------|
| 第1学年 | 男子約80名 女子約30名 | 1月21日(月)~1月24日(木) | 2月1日(金) | 2月2日(土) |
| 国際特別学級 (4月期募集) | 第1学年約10名 (第2学年) (第3学年) | 2月6日(水)~2月9日(土) | (未定) | |
| 国際特別学級 (9月期募集) | 若干名 | | (未定) | |

●小学校

| 募集年次 | 募集人員 | 願書受付期間 | 入学試験日 | 合格発表日 |
|-------------------|-------------------|---------------------------|----------------------|----------------|
| 第1学年 | 114名 | (平成2年)10月11日(水)~10月18日(水) | (平成2年)11月6日(火)・7日(水) | (平成2年)11月8日(木) |
| 国際特別学級 (4月期募集) | 二期合わせて 第5学年18名 | 2月18日(月)~2月23日(土) | 3月2日(土) | 3月4日(月) |
| 国際特別学級 (9月期募集) | | (未定) | | |

※詳細につきましては、各学校事務室(大学は入学課)にお問い合わせください。

学園史料館
資料紹介



中村春二先生筆教訓

人生の旅路を気楽にたどり得と思ふべからず
ゆきつく目的よりは一步一步の足のふみ方が大切なり
研究の価値ありと思へ 一人にてはころもとなしと
考ふる時は 先輩に尋ぬるだけの度量と敬度の
ころを忘るべからず 研究には指導教授を要すれば也

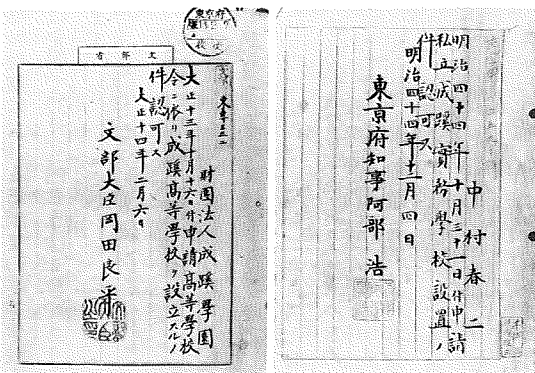
大正十二年初夏

枯林逸人

成蹊学園史料館開設の経緯につき
ましては前号に掲載しましたので
今回は学園史料館に所蔵する資料に
ついてご紹介いたします。

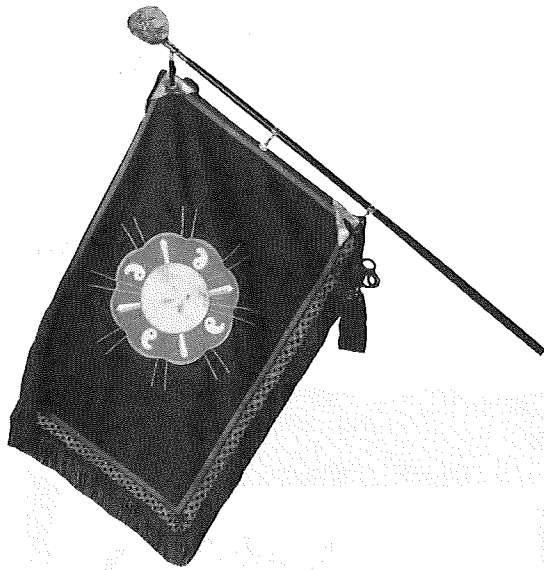
中村春二先生が大正十三年二月に
ご逝去になられる前年の初夏にお書
きになったもので、縦百三十五セン
チ横六十五センチ大字の墨書であり
ます。これは昭和五十八年中村家よ

りご寄贈されたもので、現在中村春
二記念室を入った正面に掲げてあり
ます。
中村先生は大正十二年七月頃から
次第に病勢が悪化されて、八月より



高等学校設立認可書

実務学校設置認可書



護 皇 旗



成蹊の歌原譜

箱根仙郷楼にあつて静養されております。この書はそれより少し前の頃のものと思われまゝ。

学園で保存している先生の書幅の中では一番の大幅であります。

成蹊実務学校設置認可書

中村春二

明治四十四年十月三十一日付申請
私立成蹊実務学校設立ノ件認可ス

明治四十四年十二月四日

東京府知事 阿部 浩

成蹊学園は学校としては明治四十五年四月の成蹊実務学校の開設をもつて始まつておりますが、これはその時の設置許可書です。

成蹊高等学校設立許可書

財団法人成蹊学園

大正十三年十月十六日付申請高等学
校令ニ依り成蹊高等学校ヲ設立スル
ノ件認可ス

大正十四年二月六日

文部大臣 岡田良平

大正十四年四月成蹊高等学校が開
設された時の設立認可書です。なお

昭和初期における旧制度の高等学校は全国で32校、内私立は4校であります。

校歌 成蹊の歌 原譜

作曲者信時潔先生直筆のものであります。当時の浅野孝之校長の記したものであれば、昭和二年七月七日「校歌作曲なり」とあり、翌八日の昼休時間に校歌発表となつております。

護皇旗

昭和十四年土田誠一校長の時代に校旗として制定され、五月十八日新校旗の奉載式が行われています。この校旗は昭和二十年終戦とともに廃旗されました。なお現在の校旗は昭和三十二年十月に制定されたものです。

成蹊学園史料館

開館日 月々金 ただし学園の定める休業日を除きます。

(成蹊学園 学園史料室)

なお、平成三年四月の桜祭りには、大学政治経済学部各回卒業記念写真のパネルを展示いたします。

成蹊会報告

平成2年5月1日
平成2年10月31日

一、会議

○理事會

第105回理事會(2・5・31)

(1)平成元年度成蹊会事業報告及び収支決算並びに剰余金処分案承認の件

(2)財産目録(平成2年3月31日現在)承認の件

(3)成蹊会スポーツ振興委員会委員選任の件

(4)成蹊会特別会員(教職員)推薦の件

○会員總會

第35回通常会員總會(2・6・27)

(1)平成元年度成蹊会事業報告及び収支決算並びに剰余金処分案承認の件

(2)平成元年度財産目録承認の件

(3)平成2年度事業計画及び収支予算案承認の件

○評議員會

第37回評議員會(2・6・27)

(1)平成元年度成蹊会事業報告及び収支決算並びに剰余金処分案承認の件

平成二年度(秋)叙勲受章者

勲二等瑞宝章

太田 新生(旧高14年卒)元リビア大使

(敬称略・叙勲は勲三等以上・本会調べ)

○特別委員會

(2)平成元年度財産目録承認の件

(3)平成2年度事業計画及び収支予算案承認の件

育英奨学委員會、學術・教育助成委員會(2・5・14)

成蹊クラブ委員會(2・5・17)

財務委員會(2・5・22)

育英奨学委員會、學術・教育助成委員會(2・6・18)

広報委員會(2・7・11)

スポーツ振興委員會(2・7・24)

○同窓會

プレメ幹事會(2・6・26)

高校(新制)委員會(2・9・26)

工学部幹事會(2・10・5)

○支部會

東北支部總會(2・6・16)

千葉支部總會(2・7・7)

東海支部總會(2・7・14)

二、催事

○第30回日本寮歌祭(2・10・6 日比谷公會堂)

三、刊行物

○成蹊会誌第71号発行(2・6・1)

四、寄付金(氏名・金額は別掲87頁)参照

○育英奨学基金 一三四万円

○學術教育助成基金 七〇万円

○國際交流基金 一六万円

○スポーツ振興基金 二三万円

平成3年1月1日

編集 發行人 谷岡喜久藏
發行所 社団法人 成蹊会

〒180 武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

電話 0422-51-2244(直通)・5181(交換)

FAX 0422-54-6766